

令和7年度（第1回）一般選抜入学試験問題（教育学研究科）出題意図及び解答  
専門科目問題

I

〔出題意図〕

1994年、児童の権利に関する条約に批准して30年が経過する。世界的にも乳幼児期から児童期、青年期にかけての子どもの成長発達的重要性とその保障への関心が高まっている。日本においては、子どもを取り巻く現状と課題から、2023年4月に「こども基本法」が施行され、子どもの人権を尊重する社会の実現が目指されている。そこで、児童（18歳未満）に関わる最新の動向をもとに基本的知識と理解を問う。また、論理的に記述する力、文章表現力などを問うものである。

以下の点を評価のポイントとする。

1. 児童の権利条約に示された権利を挙げ、説明していること。
2. 必要性および取り組める対応が適切であり、論拠を示しながら述べられていること。

II

〔出題意図〕

保育・教育現場において保育者や教師は、子どもの様子を見ることを通して、その行動意味や心情などを理解していく。この点について、本文に示された「観察」の概念を理解し、考察する力を問う。

以下の点を評価のポイントとする。

- 問1 本文全体から「科学的観察」について適切にまとめられている。
- 問2 本文で示された「現象的観察」の特徴が記述されて、適切にまとめられている。
- 問3 科学的観察と現象的観察の利点について、本文の内容を踏まえ論拠を示しながら述べられていること。また、全体を通して、論理展開が明確で論旨が一貫していること。